

平成30年度第2回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

平成30年8月30日

報道関係者の皆様には、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。平素より本市の様々な情報を市内外に精力的に発信いただくなど、本市の活性化にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

まずはじめに、この度の7月豪雨で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

そして、復旧にあたりご尽力をいただいております全ての皆さまに厚くお礼を申し上げます。

市では、市民の皆さまが一日も早く日常を取り戻すことができるよう災害復旧に全力で取り組んでおりますので、引き続き、皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

さて、本市では、人口減少対策が喫緊の課題となっており、その克服に向け「新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な施策として、「新見庄等の歴史・伝統文化やA級グルメなどの地域資源を活用した産業振興」や「地元産木材の利用促進を含めた木材エネルギーを活用した循環型社会の創生」に取り組んでおり、今回は、その産業振興の取組を中心にご説明させていただきます。

それでは、本日の記者会見では、

- ・ 神郷紙の館のリニューアル
- ・ 新見市循環型社会創生プロジェクト温浴施設バイオマスボイラ導入事業

- ・ 林業成長産業化地域創出モデル事業
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村への新見産ヒノキ材の提供
- ・ 新見A級グルメフェア2018
- ・ 生き生き健康アップ支援事業

について、ご説明申し上げます。

まず、「神郷紙の館のリニューアル」についてであります。

神代和紙の伝承を図るとともに、和紙を活用した商品の開発、販売などが一体的に行えるよう神郷紙の館をリニューアルいたします。

新たに、神代和紙の魅力を伝えるワークショップができる部屋や水車を利用した米本来のおいしさが保てる「とう精」設備を設け、和紙を中心に米やその他地域資源の積極的なPRや商品化を図ってまいりたいと考えております。

観光拠点施設として、デジタルサイネージを用いて地域の魅力発信を強化するとともに、集客の向上と収益の拡大を目指してまいります。

次に、「新見市循環型社会創生プロジェクト温浴施設バイオマスボイラ導入事業」についてであります。

森林が市域の86%を占める本市では、豊かな森林資源を活用した観光振興や産業振興は重要な課題であります。

そこでこの度、木質チップを燃料とする地産地消型の再生可能エネルギーを活用することにより、燃料も経済も地域内で循環できる社会を構築するため、神郷温泉及び新見千屋温泉いぶきの里で使用している重油ボイラを、バイオマスボイラに転換することといたしました。

本年度は、実施設計を行い、次年度より工事に着手したいと考えております。

次に、「林業成長産業化地域創出モデル事業」についてであります。

市内では、森林所有者の不在や高齢化により、間伐等の十分な管理が行われず放置されている人工林が増加しております。

そのため、効率的な森林管理や未利用材を積極的に利用し、森林所得の向上や雇用創出することを目指して、本年3月に真庭市と共同で、林野庁に「林業成長産業化地域構想」を提案したところ、7月に「新見・真庭地域」として「林業成長産業化地域」に選定され、モデル事業に取り組むことといたしました。

真庭市と森林資源の流通において連携を図り、経営管理が行われていない森林の新たな管理システムの構築に取り組むほか、今後、神郷下神代で本格稼働する木質バイオマス発電所への未利用材の安定供給を行う体制を整備してまいりたいと考えております。

次に、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村への新見産ヒノキ材の提供」についてであります。

この度、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が公募した「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」プロジェクトに岡山県の一員として新見産ヒノキ材を提供することとなりました。

これは、東京2020組織委員会が、環境に配慮した持続可能な大会を実現するため、全国の自治体から無償で借り受けた国産木材を使用して選手村ビレッジプラザを建設し、大会後に解体し返却された木材を各自治体が公共施設などでレガシーとして活用するものであります。

岡山県は昨年まで5年連続でヒノキ素材生産日本一を誇っており、その中でも本市が県内一であることから、この機会に、新見産ヒノキ材のブランド力向上が図られるものと考えております。

次に、「新見A級グルメフェア2018」についてであります。

本年度の「A級グルメフェア」は、市内に加えて、東京都、岡山市においても開催することといたしました。

東京都では、9月22日、23日の両日「とっとり・おかやま新橋館」でイベントを開催し、岡山市では、10月6日から8日までの3日間「岡山城ふれあい広場」で、県内でも屈指の集客力がある「秋のおかやま桃太郎まつり」にブースを出展し、本市が誇るA級グルメをPRしてまいります。

市内で実施するA級グルメフェアは、これまでの内容を刷新し、また、既存イベントとの相乗効果も狙って、11月3日に「井倉洞周辺」で開催される「新見もみじフェスタ2018」と連携して実施することとしております。

いずれの会場も、多くの来場者にお越しいただけることを期待し、販路の拡大はもとより、交流人口の増加を目指して、しっかりとPR活動を行ってまいりたいと考えております。

次に、「生き生き健康アップ支援事業」についてであります。

山佐株式会社からいただいた寄附金を活用して、健康アップ支援事業を拡充してまいります。

参加者が複数のコースから1つを選択して教室形式により集団で受講していたこれまでの健康アップ教室に加えて、新たに、健康運動指導士などが、生活習慣病の予防改善や運動機能の改善に向けた参加者個別のプログラムを作成し、それを運動施設や自宅で実践し、健康増進につながる事業に取り組んでまいります。

参加した市民の皆さんそれぞれの健康状態などに応じて適切なサポートが行えることから、より効果的な取組となることが期待できるものと考えております。

このほか、9月市議会定例会へ提出する予算案の中では、7月豪雨による風評被害により、井倉洞、満奇洞を除いた本市の主要な観光施設である新見千屋温泉などの7月の入り込み客数が、前年比で50%を下回る状況となっており、その対応として、周遊型観光ツアー助成事業費500万円を計上し、観光産業の復興に向けた施策を実施することとしております。

私からは以上でございます。